寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日： 平成 28 年 11 月 25 日（金）	開催テーマ： 富士山一周　浅間神社を訪ねる
開催場所： 駿東郡小山町、富士吉田市、富士宮市	記 入 者： 吉田　寿紀

参加人数：

寺社を巡る会会員	男 28 名	女 8 名	計 36 名
ビジター	男 5 名	女 5 名	計 10 名
合　　計			46 名

実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題　など）：

コース：　金沢文庫→東口本宮富士浅間神社→北口本宮富士浅間神社→昼食（河口湖畔）
→白糸の滝→富士山本宮浅間大社→金沢文庫

前日の 54 年ぶりという雪にびっくりさせられたが、当日は快晴。参加者の集合も早く金沢文庫を定刻より早めに出発した。途中、東名のビューポイントでは白く雪化粧した丹沢山塊、箱根連山を従えすっぽり雪をかぶった雄大な富士山に感嘆の声が出る。

最初の東口富士浅間神社では、残雪に足を取られるのを注意しながら社殿に参拝する。平安時代初頭、富士山東麓で噴火が起きその鎮火を祈願した祭事跡に社殿を造営したのが始まりといわれる。ここは富士山須走口登山の起点として、江戸時代は富士講でにぎわったといわれる。

次の「吉田の火祭り」で有名な北口本宮富士浅間神社では、ボランティアガイドの案内で 2 班に分かれて参拝した。参道は除雪してあるが、ところどころ凍っていて注意しながら進む。拝殿、神楽殿、随身門など江戸中期、富士講が最盛期を迎えたころ、村上光晴氏により大修理が行われた荘厳優美な建築群が残っている。

昼食は河口湖畔の大正時代から営業をしているという「みはらし亭」で、地元名物のほうとう鍋で体を温めた。午後は世界遺産構成資産の一つである「白糸の滝」、「音止めの滝」を見学した。

最後は全国千三百余りの浅間神社の総本宮である富士山本宮浅間大社に参拝した。二千年の昔、富士山の噴火を鎮めるため浅間大神を祀ったのが始まりで、平安初期になり坂上田村麻呂がこの地に壮大な社殿を建てたと言われている。現在の本殿は徳川家康の造営で、高さ 13mの二階建て三間社流造で他には例を見ない「浅間造」と呼ばれている。湧玉池は中世以降、富士山に登る人はここで禊をして富士山登山に臨んだといわれる。

沼津でお土産を買ったあと、バスの中ではお酒も入り賑やかな時を過ごしながら無事金沢文庫に帰着した。

参加者の状況・意見など：

快晴の下で真っ白な富士山に皆大満足の様子でお天気に大感謝の一日であった。

次回の予定：

12 月 1 日 10：00　鎌倉岐れ道バス停 集合　二階堂地区

その他：